

平成4年度  
市川市文化祭

# ファミリー交響楽 コンサート

12月20日(日) 2時開演  
市川市文化会館大ホール

1992年

229th



千葉県教育委員会 市川市教育委員会 主催  
千葉交響楽団協会 市川交響楽団協会 共催

# プログラム

歌劇「魔弾の射手」序曲 ..... C. M. ウェーバー  
(1786-1826)

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11 ..... F. ショパン  
(1810-1849)

第1楽章 アレグロ・マエストーレ  
第2楽章 ロマンツェ  
第3楽章 ロンド

————— 休 憇 —————

交響曲第6番 ロ短調 作品76 「悲愴」 ..... P. チャイコフスキイ  
(1840-1893)

第1楽章 アダージョー アレグロ・ノン・トロッポ  
第2楽章 アレグロ・コン・グラチア  
第3楽章 アレグロ・モルト・ヴィヴィアーチエ  
第4楽章 アダージョ・ラメントーレ

全員合唱「きよしこの夜」 ..... グルーバー

指揮：津田 雄二郎  
ピアノ独奏：小佐野 圭  
管弦楽：市川交響楽団

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリー

## ●出演者のプロフィール

### 指揮：津田雄二郎



東京芸術大学器楽科1980年卒、米国カーチス音楽院に留学、室内楽をM. D. スチュワート(フィラデルフィア交響楽団)、トロンボーンをジョー・アレッジ(ニューヨークフィルハーモニック)に師事したほか、指揮：佐藤功太郎、大友直人 Tb：伊藤清 Vln：桑原幹子 Pf：田中健弥 作曲：小倉伸作の各師に師事。

現在、バッハカンタータオーケストラ、同合唱団、市川交響楽団、慶應義塾ウインドアンサンブル、合唱団コロルネットサンス、鎌ヶ谷高校合唱部、モーツアルト記念合唱団'92の指揮者を勤めている。

86年から90年まで市川交響吹奏楽団を指揮し全日本吹奏楽コンクールにて5年連続金賞受賞を果たし、指揮者賞を受賞。CBSソニーよりCDが発売されている。

市川交響楽団に於いてはNHK交響楽団の指揮者外山雄三、ニューフィル千葉の山岡重信、九州交響楽団の黒岩秀臣各氏のアシスタント・コンダクターも勤めマーラー、ブラームス、チャイコフスキイ、シベリウス等の作品に取り組んだ。

昨年12月の「ファミリー交響楽コンサート」に続いての出演である。

### ピアノ：小佐野 圭



国立音楽大学を武岡賞を得て卒業。同大学院終了。

長田明男、数野洋子、藤澤克江、御木本澄子、久本成夫、長峰和子の諸氏に師事。

国立音大在学中よりエリック・ハイドシェーク、ペーター・ショイムシュ、イエルク・デームス、各氏に師事して個人指導を受ける。

下記の演奏会のほか、YAMAHA、KAWAIサロンコンサートにも度々出演。邦人作品の演奏にも積極的に取り組んでいる。(主催グループ「和」)最近ではコンチェルトを含むソロ活動の他、室内樂あるいは声楽リサイタル伴奏等、アンサンブルピアニストとしての評価も高い。

現在、玉川大学芸術学科講師。国立音楽大学講師。

#### 〈主な演奏歴〉

- |   |   |
|---|---|
| 1977年 東京文化会館推薦音楽会出演。                      | 1988年 ソロ・リサイタルをサントリーホールで行い好評を得る。        |
| 1980年 読売新人演奏会出演。                          | 1989年 新日フィル・新ヴィヴィアルディのメンバーとピアノ五重奏曲共演。   |
| 1982年 甲府・東京にてデビュー・リサイタルを開催。               | 1990年 全国育樹祭記念公演、山梨交響楽団指揮、田中一嘉で共演。       |
| 1984年 東京交響楽団主催公演、秋山和慶の指揮でベートーヴェン第5協奏曲を共演。 | 1992年 マルグリット・フランス(Violin)とデュオ・リサイタルを行う。 |
| 1986年 二台のためのデュオ・コンサートを甲府・桐生・飯田・東京において開催。  |   |
| 同年 ケルン音楽大学において1ヶ月間ウインヘルム・ヘッガーに師事して研鑽をつむ。  |   |

# 曲 目 解 説

## 歌劇「魔弾の射手」序曲

今日、最初にお届けする曲は、ウェーバーを代表する作品の1つであり色濃いロマン的雰囲気をたたえた歌劇「魔弾の射手」序曲です。

ウェーバーの6作目の歌劇であるこの曲は、ドイツの一般民衆の感情が自然に描かれており本格的な民族的ロマン派歌劇の第1作として歌劇史上に不滅の光を放っています。

ボヘミアの深い森を舞台にしたこの歌劇は、ウェーバーが古い民話と伝説集からヒントを得て長年あたためたものを実に4年もの歳月をかけて慎重に作曲に取組み、1821年に完成しました。

魔弾の射手というのは悪魔から魔法の弾丸をもらった猟師のことをいい、この魔弾は7発あり6発までは射手の狙

## ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

ショパンは「ピアノの詩人」と称されているように、その作品のはほとんどはピアノのための小作品である。協奏曲やピアノ・ソナタといった型にはまった音楽は、およそ彼の肌には合わなかったのであろう。

ショパンはピアノ協奏曲を2曲残しているが、いずれも初期に属する作品である。このうち現在第2番と呼ばれているものは、本日演奏する第1番の前に作曲されたもので、楽譜出版の関係で番号が前後したものである。

第1番は作曲者が20歳のときの作品で、初演は1830年10月11日、ワルシャワで行われている。

当時コンスタンチア・グラドエフスカと熱烈な恋愛に陥っていた彼のほほばしのような情熱がこの曲にこめられている。

## 交響曲第6番「悲愴」 口短調 作品74

P. I. チャイコフスキー(1840-1893)最後の交響曲となったこの「悲愴」は1893年8月末頃に完成され、同年10月28日彼自身の指揮によりペテルブルクで初演された。チャイコフスキー自身「自分の一生のうちで一番の傑作だ」と自信をもって世に送り出した作品だが、人口に膾炙している交響曲も珍しい。その人気の秘密はどんなところにあるのだろうか。

チャイコフスキーの交響曲の大きな特徴は、西欧の作曲家達の求めた形式美や構成美等の理論的な追求ではなく、標題音楽的側面を持つ感情表現の対象としての追求である。「悲愴」作曲直後、「この交響曲には標題性があるがそれは謎であるべきもので想像する人に委ねよう。それは完全に主観的なプログラム(叙述的内容)だ。私は旅行中に頭の中でこれを作曲しながら幾度となく泣いた」とチャイコフスキーは述べている。(「悲愴」という標題は初演翌日チャイコフスキーの弟モデストの提案により

## C. M. ウェーバー (1786-1826)

ったものに必ず命中しますが、最後の1発は悪魔の意のままに当ることになっているのです。

射撃大会の当日、優勝者には森林保護官の地位と娘アガーテを花嫁に迎えることができます。アガーテの恋人であり優勝候補のマックスは最近調子が悪く落ちこんでおり、悪い友人にさそわれとうとう魔弾を手に入れてしまうのです。しかし自らその罪の重さに気づき、彼を一途に愛するアガーテの清純な愛に救われることになります。

序曲ではまずホルンの旋律で深々とした幻想的な森の気分に誘われ、恐ろしい悪魔の場面など歌劇の中の材料により構成され最後にアガーテの歌からとられた主題によって愛の勝利が讃えられます。

(ピオラ：竹内)

## F. ショパン (1810-1849)

この協奏曲はもっぱらピアノ独奏のために作曲されたような曲で、オーケストレーションはきわめて貧弱である。ピアノパート抜きで演奏すると、曲としての骨格がなくなってしまう部分が多い。市響の練習でも、簡単な(チャイコフスキーと比べればの話)譜面のわりに手を焼いた人が多かったようである。

後世の作曲家がオーケストラ部分に手を加えたりもしたが、かえって独奏部分の美しさが損われてしまい、こうした試みは誤りであるということが明らかとなった。今日では作曲者のオリジナル版に基づいた演奏が行われている。

(ピオラ：高橋)

## P. チャイコフスキー (1840-1893)

名付けられている。)

長い間、チャイコフスキーは初演後もない11月6日にコレラで亡くなつたとされていたが、実際は、ある侯爵の甥との同性愛関係がこじれ自殺に追い込まれたというのが事実のようである。厳肅なるロシア正教の社会の中、決して祝福されることのない愛に身を委ねた作曲家のやるせない情感が「悲愴」の全編を貫いている主題といえるかもしれない。

ひとときはかない喜びに陶酔しようとする一方で、悲観的な人生の苦渋を克服すべく葛藤を繰り返す中、行く手を遮る運命の前では全てが無力であり、むなしく嘆き悲しみながら静かに消えていくほかはない。「悲愴」を演奏している時に私の胸をよぎる感情である。全ては謎のままであるが、「悲愴」が万人の心に浸みこむ名曲であることに変わりはない。

(トランペット：安藤)

# 市響ってなに?

昨年市響は、創立40周年を迎えた。

筆者はまだ入団後やつと3年が過ぎようとしているかけだしです。しかし市響には40年在団の団員から始まって、15年以上在団の団員が15人以上おられ市響の演奏、運営に活躍されています。

人々を市響にひきとめる吸引力、魅力とはなんなのでしょうか。長い間には市響という円の中心点からふと離れようと思ったこともあるかもしれません。またやむをえず離れるをえなかつた方もおられます。

そんなとき、また市響という集まりに戻ろうとする気持ちはなんなのでしょうか。

今回、出産のため1年半休団し市響を離れて再び復団された団員に、電話インタビューを試みました。市響を離れていた時の気持ち、再び市響に戻ろうとする動機、実際に復帰した気持ちなどを伺つてみました。

Q 休団中市響の演奏会を客席で聞かれていかがでしたか?

A 楽しかったです。ここは(この箇所)は練習したんだろうなあと、それぞれの顔が目にはいり、懐かしさがこみあげました。

Q これからも続けていくと思うのは何故ですか?

A 子どもが大きくなつた時、自分が演奏する姿を是非見てもらいたいという気持ちがあるからかもしれません。

Q 市響にもどった時の感想は?

A 少し心配でしたが、団員の方がなんのブランクなしに接してもらえたのがうれしかつたです。

それぞれの答えの中にはできではありませんが、一言一言に確かさを感じました。

市響には100人の団員がいますが、各人がそれぞれの関わりをもちながら、しかし演奏会という共通した目標に向かって進むところに何か魅力があるのでないでしょうか。そして舞台の上で最後の音が終わつた時、なにかしら得る心地よさが忘れないのかもしれません。本日のファミリーコンサートもそんな一人一人の団員のなにかを感じていただければ幸いです。

## 本日の出演者

### 第1ヴァイオリン

生山 陽	堤 哲児
石井 久雄	根守 弘和
角川 総一	久田しげ子
鈴木 淳子	三木美千子
長尾 浩行	村上 葉子
永田 匡	村田 康代
広浜 浩司	柳沢 敦子
福原 祥子	
松山 和子	<b>ヴィオラ</b>
山岸 万紀	斎藤十一郎
渡辺 昭子	高橋 行継
渡辺えり子	竹内ひとみ
竹内 甲	福井 康祐
中渡 良宏	星 乗昭

### 第2ヴァイオリン

石本 恵理	横田 行雄
亀井 玲子	若林 繁
栗林 えみ	横山 淳
小島由美子	久保木 佳代子
鈴木 薫	
須永 恒雄	<b>チェロ</b>

倉沢 優子
瀬川 清

### トロンボーン

田頭 扶
中村 公一
樋口 進
福原 耕二
横田 朝之

### コントラバス

菊池 克彦
鈴木 重則
三輪 泰之
村上 信乃
李 隆子
河内 恵二
岡本 正義

### フルート

木村 純一
木村真諭紀
佐藤 洋行

### オーボエ

荒井 淳
二村 直子

### クラリネット

一瀬 直美
多田 準也
時田 雄
半藤 聰人
吉野 智久

### ファゴット

金坂 哲
小島 厚
戸川 安道

### ホルン

河野 和正
越塚 康央
近藤 利昭
鳴村 恒夫
菅谷 博之
市木 彦浩
松本 英輝

### トユーバ

久保 昭
糸 秀樹
楫谷 妙絵
野木夕起子
蔽崎 裕至
渡辺 鉄雅

### 打楽器

岩橋 正治
木村 範子
丹羽 祐子

## 平成4年度 市川交響楽団 役員

團長	村上 正治
幹事長	時田 雄
コンサートマスター	松山 和子
総務会計	越塚 康央
会計	石本 恵理
会計	木村真諭紀
涉外	中村 公一

副團長	横田 行雄
管・打楽器チーフ	木村 純一
広報企画	堤 哲児
企画	鳴村 恒夫
庶務	亀井 玲子
財務	高橋 行雄